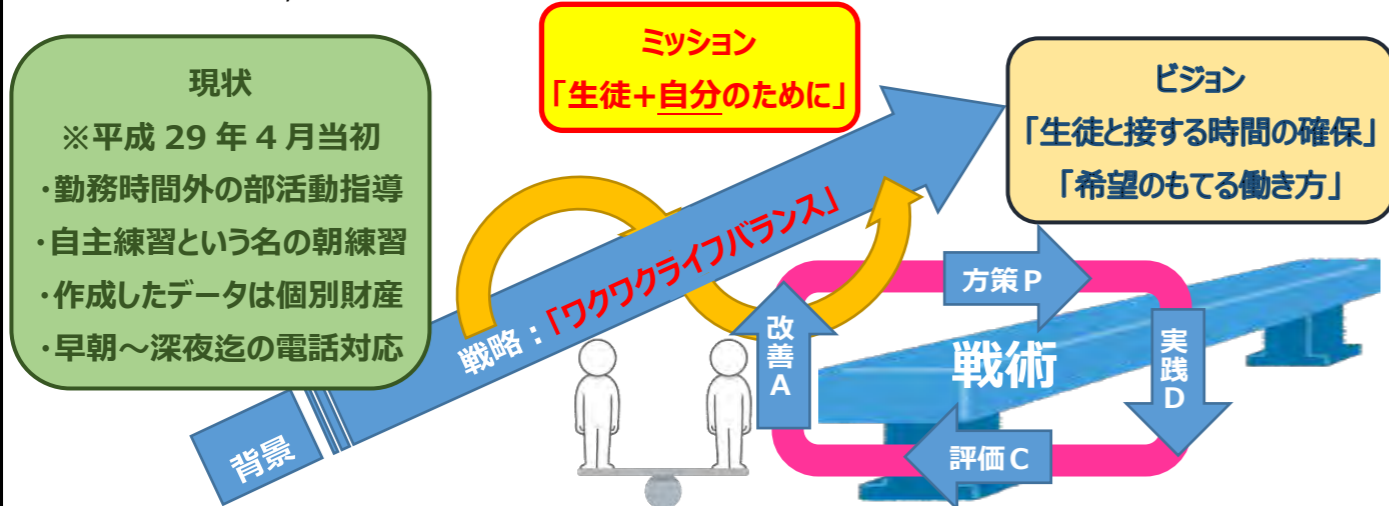


<エントリーシート> ※事務局記入欄 No. : A - 22	部門 研修成果活用部門 平成30年第4回中堅教員研修	学校名・氏名 宮城県岩沼市立玉浦中学校 主幹教諭 安田 弘秋
	活動名 ワクワクライフバランス 学校マネジメントからのアプローチ	

**課題の設定：** OECDの調査（H25）では、参加34か国のうち、勤務時間の最も長い国が日本でした。（勤務時間 参加国平均：38.3時間、**日本：53.9時間**）※グラフ1  
 授業時間は参加国とほぼ同じなのに、課外活動や事務業務が特に長いことが分かりました。（課外活動時間 参加国平均：2.1時間、**日本：7.7時間**）※グラフ2  
 （事務業務時間 参加国平均：2.9時間、**日本：5.5時間**）※グラフ3  
 このような実態を受け、宮城県岩沼市では平成29年度より教職員の働き方改革推進委員会を立ち上げ、具体策を盛り込んだガイドラインを策定しました。しかし、先生方の情熱あふれる指導「生徒のために」が働き方改革の壁になっていました。

**方針・計画：** そこで、次のようなマネジメントを考えました。



**活動内容：** 具体的な手立て（戦術）の一部を紹介します。

- ① 時間外業務時間の月別目標を小・中学校別に数値化(H30：15%減→H31：25%減)※表1
- ② 教職員の時間に対する意識向上に向けた時間管理の徹底（タイムカードや留守番電話の設置）
- ③ 教職員・生徒の健康管理を目的とした部活動休養日（朝練習の禁止、シーズン別休養日の設定）

**活動の成果：** 「ワクワクライフバランス」の充実→生活と仕事の相乗効果の一例

例：複合的に相乗効果をもたらした留守番電話の設置

設置したことで…①**夕方 18:30～朝 7:30 までの電話対応がほぼ無くなった！**

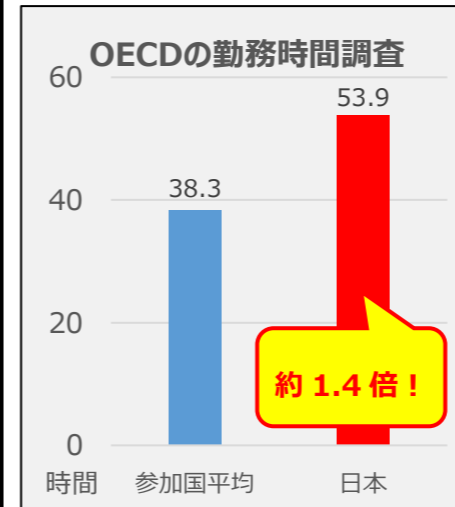
②**保護者も勤務時間内に相談しようとするので、内容が精選された！**

③**教員も 18:30 以降学校にいないと、電話に出ないのはおかしいので退勤する！**

緊急時の対応として学校で携帯電話を保持（管理職が管理）しているが、ほとんど連絡はなし！

**アピールポイント（アイデアや工夫）：** ワクワライフバランスとはどちらかを犠牲にする事ではありません。

仕事のスキルをプライベートで身に付け、より短時間で仕事上の成果を挙げることで、生活を充実させます。本校では、私生活でも教職員が同じ趣味（野球観戦やマラソン）をもち、ライフを充実させています。



グラフ1 OECDによる勤務時間の比較

グラフ2 課外活動時間の比較

グラフ3 事務業務時間の比較

表1 宮城県岩沼市で掲げた時間外業務目標時間

①岩沼市教職員個人目標 H.30：月当たりの時間外業務60時間→15%削減→ <b>51時間まで</b> H.31：月当たりの時間外業務60時間→25%削減→ <b>45時間まで</b>												
②岩沼市内小・中学校月別目標												
小学校	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H29 超過時間	44	47	52	37	11	48	46	43	34	33	40	
H30 目標時間	<b>37</b>	<b>40</b>	<b>44</b>	<b>31</b>	<b>0</b>	<b>41</b>	<b>39</b>	<b>37</b>	<b>29</b>	<b>28</b>	<b>34</b>	
中学校	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H29 超過時間	55	66	57	54	19	60	55	52	43	36	43	
H30 目標時間	<b>47</b>	<b>51</b>	<b>48</b>	<b>46</b>	<b>0</b>	<b>51</b>	<b>47</b>	<b>44</b>	<b>37</b>	<b>31</b>	<b>37</b>	

## 研修成果を活用した今後の学校マネジメントビジョン

### マネジメントとコーチングの相乗効果

**ビジョン「生徒と自分のために」**

**戦略「ワクワクライフバランス」**

**PDCA サイクルによる「マネジメント」**

**生徒のやる気に火を付ける「コーチング」**

SWOT分析による職員評価の目標

	プラス要素	マイナス要素
内部環境	Strength 活かす強み	Weakness 克服すべき弱み
外部環境	Opportunity 機会を捉える	Threat 回避すべき脅威

**強みを生かし、弱みを補うテーマの設定**